



Title	大阪大学低温センターだより No.7 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 1974, 7
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21994
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

さん自身も危険を感じていたであろうし、私も病状の進行の早さに驚いた。6月10日に見舞に行った時も、弱音一つ出さず仕事の話をし、呑み物に挑戦していたが、もはや胃が受け付けなかった。12日意識が薄れ、17日未明亡くなった。

春秋に富む若い世代の中に最近ともすれば見失われがちな気力と生命力のかたまりのような日本男児が一人いなくなった事は誠に悲しい。

基礎工学部 田 崎 明

編 集 後 記

蒸し暑い梅雨の続くさなか第7号の編集を終えましたが、この号が皆さんの手許にとどく頃は梅雨もからりとあけて、冷たい水のほしい真夏がやってきている事でしょう。

最近では極低温や超伝導も、低温や物性の限られた研究者の対象だけでなく、医学や公害防止などにも応用が考えられる様になってきました。超伝導マグネットによる磁気浮上、磁性イオンの磁気分離などはこの例と言えましょう。

低温センターだよりの編集の席上でもこの様な興味あるテーマ、新しい研究について、ニュースが色々と聞かれます。私達はこれらの研究が着実に成果があがる事を期待すると共に、編集にたずさわる者として、「低温センターだよりの」がセンターからのたよりである事以上に低温に関係した研究者からのたよりであって、これら新しい着想の発展のためのよきコミュニケーションの場となってほしいと願っています。

〔中 島 記〕

大阪大学低温センターだよりの 第7号

昭和49年7月 発行

編集責任者 長谷田 泰一郎

発行者 大阪大学低温センター

吹田分室 大阪府吹田市字山田上

電話(06)877-5111

内線 4105

豊中分室 大阪府豊中市待兼山町

電話(06)856-1151

内線 2562

印刷所 とうけん社

大阪市福島区海老江下2-11

電話(06)451-1061

代表 村上喜与志

